



### 地方分権に吉川市は、 どのように取り組む考えか

中村 喜一

問 吉川市内から人口を生み出す事業とはどのようなものか。

答 市長 美南駅周辺整備では、宅地開発中心の流入人口を目指す開発でなく、幸福を実感できるまちづくりに取り組むので、知名度の向上や市民がまちに誇りを持ち、結婚、出産、子育てのサポートにより人口増に繋がる。



問 農地内に虫食い開発された資材置場等から、農業用水路に排水が流される例が増えている。用水整備の財源確保を目的に、地方独自に課税する施策も可能であり、有効な施策と思うが。

答 市民生活部長 独自課税などは難しい。国、県の補助金の活用にも努める。

#### ◆総合戦略策定の進捗と課題

問 三輪野江地域に進行中の墓地開発は、計画の土地利用構想に反する動きであり、環境への

配慮が必要と思うが、条例の見直しや行政指導の方針は。

答 市民生活部長 行政指導は任意的なものだが、周辺住民の意見に対し、宗教法人が見解書で示した取り組みを確実に行うように求めた。

### 「障がい者千人雇用」事業に学び、 障がい者就労支援の推進を

互 金次郎

問 公明党吉川市議団では総社市の「障がい者千人雇用」を視察調査しました。平成23年4月時点180人の障がい者雇用実績が、今年8月の視察時には885人と増加しました。当市も商工会と協定を結び、企業向けセミナーや意向調査を検討しては。またライフステージに応じた支援も必要では。

答 健康福祉部長 他の部署、機関との連携も検討し企業向け情報発信に努めます。グループホーム充実も取組みます。

問 総社市では「障がい者千人雇用推進条例」が事業推進の力となりました。社会的に困難を抱える方々の希望となっており。当市も条例化等を検討しては。

答 市長 ここで条例化等については答えられないが、提案をきちつと検討し進めたい。

#### ◆振り込め詐欺対策の強化を

問 予防録音装置等のハード面も含め対策強化の検討を。

答 市民生活部長 吉川警察署と連携し高齢者・市民に対し、一層の注意喚起に努めます。

### 近未来型広報紙へ 「広報よしかわ」の改革を

五十嵐 恵千子

問 住民が「統治される側」から「自ら社会参画し統治する主体」へ意識がシフトされるような近未来型広報紙へ質的転換を遂げる必要があると考えます。

答 市長 市民意識調査の結果から若い世代の方に読んでいただける対策が必要と認識している。今後は、市民のニーズに合わせた内容を掲載するとともに、若い世代の方を意識し「i広報紙」の実現に向け取組みたい。

◆在宅医療・介護連携の推進と在宅介護対応薬局認定事業を

問 今後の取組みについて。

答 健康福祉部長 課題は、医療と介護の連携体制の更なる構築と、往診体制の充実が挙げられ、今後は国から示された8つの具体的な取組みを着実に進める。また、薬剤師を含む多職種関係者会議を立ち上げ検討する。

◆高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種者に対して再通知を

答 健康福祉部長 調査・研究。

### 国連推奨のESD(持続可能な 開発のための教育)の取組みを

小野 潔

問 ESDとは環境、平和、人権、国際理解、多文化共生、防災などを身近なところから取り組み学ぶ、学校区を一地域として公民館を中心に行政、市民、市民団体、企業、NPO等様々な団体がネットワークで活動し、地域の絆、信頼を築く。市長提案の市民団体応援基金、地区担当官はこのESDを理念、基軸として考えてはいかか。

答 市長 柱を作って協働のまちづくりを努めて参る。

#### ◆中曽根公園・中曽根グラウンド に駐車場の整備を

答 都市建設部長 検討をする。

#### ◆市長キャラバンの総括について

問 庁舎建設の第一義は人命、けが人を出さない防災拠点だ。8200㎡前後を確保し、免振構造で人命を守れ。

答 市長 安かろう悪かろうではなくしっかりと防犯拠点に。

問 新中学校はミニ劇場、ミニ音楽堂等文化施設の複合化を。

答 教育部長 検討して参る。

### どの子ども健やかに 成長できる施策を

遠藤 義法

問 子どもの貧困が社会問題となつています。行政が現状を把握、一つひとつの事業をしっかりと実施すべきではないか。

答 健康福祉部長 妊娠届時の聞き取り調査や児童扶養手当支給時にアンケートをとるなど現状を把握し、関係部署で認識を一致させ対応しております。

#### ◆市の財政見直しと新庁舎建設は

問 市民サービスと防災の拠点である新庁舎建設費の削減は限界があり、安かろう悪かろうは問題。削減額の見直しは。財政健全化の指標から見ても仮称第4中学校建設や新庁舎建設後も財政的には問題ないと考えます。美南駅東口整備の事業費179億円のうち、市の負担分が49億円というのは高すぎないか。

答 市長 市の財政は健全であると言えます。市庁舎建設費をどこまで削減できるか構造含め検討している現状です。東口整備の市費は少なればその方がよいが、街として価値を高めていく必要がある、バランスをとることが大事です。

問 「産業まちづくりゾーン」について市長と地区の懇談会が持たれたが今後はどうするのか。当地区は、昭和44年〜平成16年までは土地区画整理事業の対象地区として、平成18年からは地区計画「産業まちづくりゾーン」として位置づけられる一方、環境整備は遅れたままだ。

今後は「都市計画道路三郷松伏線」の完成や美南駅東口開発等の整備を先延ばしする事なく進めていただきたい。

答 市長 懇談会は早い段階で2回目を持つ予定です。開発計画を市民と作っていく中で、同時に市民の身近な問題にもきちつと市として取り組んでいく。

### 三輪野江地区「産業まちづくり ゾーン」と遅れた環境整備

小林 昭子

問 進捗状況と今後の見直しは。

答 市民生活部長 平成26年11月に調査。12月から平成27年8月までの進捗状況は276カ所中37カ所、39路線中2路線を実施。今年度末に概ね110カ所15路線の補修を見込んでいます。平成29年度終了を目安とし早期完了を目指す。

## 答えて市長！一般質問

次ページへ続く